

# 本部だより

## ●第51号



マーシャル方面遺族会

<http://mibfa1926.com>



携帯サイト

- 発行日: 令和7年2月1日 ●発行人: 高林 芳夫
- 本部: 181-0012 東京都三鷹市上連雀8-7-8
- 電話 & FAX: 0422-77-8557 ●編集人: 鈴木千春



上空から見たケゼリン本島



新年あけましておめでとうございます。

お健やかに新年をお迎える事とお慶び申し上げます。

令和7年、終戦から80年を迎えます。当遺族会も

設立から62年を迎えます。

4月6日(日)靖国神社にて慰霊祭を挙行政致します。

す。ご家族皆様お揃いでご参列下さい。

昨年は新首相に石破茂氏が就任されました。

国内では経済の立て直しや国防対策等、多くの難

題を抱えての船出となりました。世界を見れば米国

大統領にトランプ氏が就任。ロシアによるウクライ

ナ侵攻は3年となります。イスラエルとハマスも戦

争中であり、北朝鮮は大陸間弾道弾の発射実験を実

施。中国は国境侵犯を繰り返し、国際情勢からも目

が離せません。

政府には国民の生命財産国益を守ると同時に、世

界のリーダーとして、国際社会に貢献することを望

みます。

当遺族会も役員の高齢化が目立ち、世代交代の時

期を迎えております。次世代を担う青年部(孫・甥・

姪等)にタスキを繋ぎたいと考えます。日本の将来

は若者の頭脳に託されており、古き伝統を守り、新

しい発想で明るく豊かで夢の持てる社会実現に期待

しております。



# 令和7年度 慰霊祭・総会・直会のご案内

左記の通り慰霊祭・総会を開催します。皆様お誘い合わせのうえご参列下さい。

## ■直会（懇親会）

アルカディア市ヶ谷2階 中国料理「翠」

靖国神社から徒歩で移動となります。

13時頃より開始

会費 お一人様 5000円

終了時刻 15時30分頃

※参加人数によりお店が変更される場合があります。

年会費 3000円

慰霊祭参加者お一人につき（お子様も）

玉串料 500円

直会参加者 5000円

・寄付金 任意ですが、当会は皆様からの会費とご寄付で運営しております。何卒ご協力をお願いします。

◆会費未納の方がいらつしやいます。2年間お振込みのない方は会報発送を停止します。

慰霊祭を手伝っていただき、

青年部員より「コメント

◎黒澤みどりさん（茨城県）

いまだ勉強不足で至らない点ばかりではございますが、戦争で喪われた大切な方々への追悼の思いを次の世代へ繋いでゆくためのお役に立つことができればと、ひとえに願っております。

◎保延 恒さん（東京都）

はじめまして、保延 恒（ほのべこう）と申します。父、務の会計事務を手伝っていたら、いつしか遺族会の皆様

## 事務局よりお願い

### ◆出欠はがき

同封のはがきに必要事項をご記入のうえ、2月中旬までにご投函下さい。  
欠席の場合も同様に投函下さい。

### ◆会費

振込用紙（同封）にて

2月末までにお振込みをお願いします。  
す。

（振込手数料は各自負担でお願いします）  
す）

- 一 開会の辞
  - 一 あいさつ
  - 一 活動報告
  - 一 会計報告
  - 一 会計監査報告
  - 一 今年度行事予定
  - 一 その他
  - 一 閉会の辞
- 織田邦男様 講話 11時より約30分間
  - 集合写真撮影 11時30分から約20分間
  - 慰霊祭 昇殿参拝 12時より約30分間

とお近づきになることになりました。どうぞ宜しくお願い致します。

◎中村佳子さん（千葉県）

今年、父と主人と娘で4月の慰霊祭に初参加し、若い方々も沢山いらして、次の世代にも伝え続ける事が大事だと痛感しました。戦没者の方々の供養と感謝の為の日ですので、孫の世代の方々も、慰霊祭にぜひご参加下さい。

◎池田幸夫さん（神奈川県）

新入会員の池田幸夫です。戦没者は母方祖父になります。（ブラウン環礁エオンチャビ島）会員になるとともに、微力ではございますが、青年部のお手伝いをさせていただくことになりました。遺族会の想いを、更に次世代に継承すべく協力させていただきます。

●永代神楽祭

古田誠一郎

令和6年7月15日、靖國神社にて当会の永代神楽祭を斎行いたしました。

神官の祝詞奏上に続き、笛、太鼓の演奏に合わせ巫女の舞が奉納されました。

普段は間近で見ることのない雅楽の演

奏と優雅な舞は、大変美しく見事なものでした。

その後、代表による玉串奉奠に合わせ全員で拝礼し、永代神楽祭は終了いたしました。

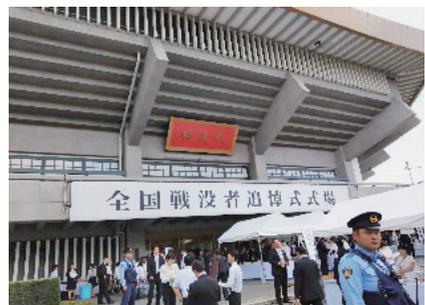


後列・古田さん、吉田さん、黒澤さん  
前列・高林夫妻、小室さん、清水さん

●全国戦没者追悼式

鈴木千春

8月15日、天皇、皇后両陛下の御臨席のもと、全国戦没者追悼式が日本武道館で行われました。岸田首相はじめ多くの政治家、全国からの遺族たち合計4023名が参列しました。



国歌斉唱のあと、岸田総理大臣の式辞は、「未帰還の戦没者の遺骨収集を、国の責務として集中的に実施すること、世界が直面する

課題の解決に取り組み、戦争の惨禍を繰り返さない」という内容でした。

正午の時報に合わせ全員で黙とうし、天皇陛下のお言葉のあと、衆・参の議長、最高裁長官が追悼の辞を述べ、献花が続きました。

私は2階席でしたが、右側の席に隣合



岸田総理



わせた男性が、偶然にも戦艦武蔵の生存者のご家族でした。私の大叔父も、武蔵に乗艦していた時期があるため海軍話で、大変有意義でした。

また、左隣の老婦人は、父親が沖繩戦で玉砕されたとのこと。「来年は娘を連れて来たいが、自分が生きているかわからない」と寂しそうでした。

会場は、このような家族の悲しみが渦巻いて厳粛な雰囲気なのに、1階席では「全国戦没者之霊」と書かれた標柱を背に、満面の笑みでVサインをし、写真を撮る人の多さに驚きました。観光気分なのか、地方からの参加者の不謹慎さに呆れました。沖繩で父を失った女性も、記念写真に興じる彼らに「この場でなぜ笑えるのか理解できない」とこぼしていました。

今年はいろいろ感じる事の多い追悼式でした。

◆天皇陛下のお言葉◆

本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来79年、人々のたゆみない努力により、今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられました。多くの苦難に満ちた国民の歩みを思うとき、誠に感慨深いものがあります。

これからも、私たち皆で心を合わせ、将来にわたって平和と人々の幸せを希求し続けていくことを心から願います。

ここに、戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、過去を顧み、深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを切に願ひ、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、全国民と共に、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。



令和6年度東京都戦没者追悼式

清水雅尚

8月15日、東京都戦没者追悼式が東京都と東京都遺族連合会の主催で文京シビックホール大ホールで挙行されました。

小池百合子都知事は骨折が報じられる中、元気に車椅子で出席されました。知事としてこの式典への思いが感じられました。私は会長代理として来賓参列いたしました。

式典は東京消防庁の国歌斉唱から始まり、続いて小池都知事の式辞（非戦の誓い）があり、正午の時報に合わせて黙祷、

放送による天皇陛下のお言葉があり、続いて宇田川東京都遺族連合会会長、都議会議長、各界の代表者、遺族関係者の追悼の言葉がありました。

戦争によって引き起こされた悲劇を改めて思い起こされました。

最後に都知事をはじめとして関係者の献花にうつりました。私はマーシャル方面遺族会代表として、2番目に指名され献花をしました。

年々、数が少なくなっていく遺族会で、当会の存在も大事になっていきます。

世代交代も含め協力しあっていきたいと思っています。



令和6年度千鳥ヶ淵戦没者墓苑  
秋季慰霊祭  
高林芳夫

10月18日、今にも雨が落ちそうな曇天模様の中、常陸宮華子殿下ご臨席のもと、式典が始まりました。

自衛隊音楽隊の奏楽、国歌斉唱から始まり、式次第通り式典が進み、常陸宮華子殿下がご拝礼されました。参列者一同も合わせて拝礼、常陸宮華子殿下がご退席。

その後、陸・海・空自衛隊部隊拝礼。内閣総理大臣はじめ各遺族会代表が献花、水落日本遺族会会長をはじめ、私もマー



シャル方面遺族会を代表して献花、御霊への感謝の誠を捧げてまいりました。政府関係者は衆議院選挙の真っただ中で全

て代理が出席でした。

遺族会代表も各県遺族会がほとんど、当会のような地名ある遺族会はわずかでした。

式典は厳粛に行われ身の引き締まる思いでした。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑慰霊祭は年に2回、春(5月)と、秋(10月)に行われます。

春は厚生労働省主催、秋は千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会の主催です。

新入会員(戦没地島名 戦没者との続柄)

- 東京都 金森佳子様 (クエゼリン 孫)
  - 千葉県 中村 貢様 (クエゼリン 子)
  - 神奈川県 笠原奈美子様(ルオット 姪)
  - 香川県 富田知子様 (クエゼリン 孫)
  - 千葉県 泉水晃子様 (クエゼリン 孫)
  - 神奈川県 池田幸夫様 (ブラウン 孫)
- ご入会ありがとうございます。

訃報

石川正興様 香川県  
(子供の金森佳子様が継承 ※司令官・秋山門造命の孫)

富田佳代子様 香川県 83歳

(子供の富田知子様が継承)

富田キミ様 福島県 101歳

腰川妙子様 千葉県

謹んでお悔やみを申し上げます。

### クエゼリンの金子さん一時帰国

(会報46号でも金子さんをご紹介しています)

去る9月26日、高林会長と共に、一時帰国中だった金子さんと都内で面会しました。金子さんは、クエゼリン基地でのお仕事のタイミンで、島の慰霊碑をキレイに清掃してくださいました。

島の西側、慰霊碑の目印となる大きな2本の木が、風の影響でこのように曲がっているそうです。



・会友 渡辺様より寄稿いただきました。

### 尊い御霊に心寄せて

渡辺美枝子(新潟県)

幼少期の想い出の一部を紹介させて頂きます。

父が独身の時、仕事の関係で中国へ移住しました。数年後に母と出会い結婚、昭和18年2月に私が誕生しました。場所は、中華民国浙江省でした。

昭和20年春、戦況が悪化し、日本人の身が危険になってきました。会社が日本人社員全員を港まで送り、船で帰国するように取り計らってくれました。

乗船の時、「この船の乗船はここまで」と、私達の前で、ストップがかかり、私達は乗る事が出来ませんでした。

次の船を待つことになり、この船に乗った友達と日本の港で会える事を楽しみに、しばしの別れを惜しんでおりました。

ところが、この船が途中で魚雷に遭い、爆破、沈没し、多数の民間人が亡くなりました。

もしこの船に乗っていたら、今の私は

存在しません。こんな形で多くの人たちが亡くなられたと思うと胸が痛みます。

私は遺族ではありませんが、先の戦争で犠牲となられた全ての御霊に心からのご冥福をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、高林会長はじめ役員の皆様にはいつもご活躍お疲れ様です。

遺族会の活動を通して平和で穏やかな世が後世まで続く事を信じています。

遺族会発展のために、会員皆様がお心を寄せて一人でも多くのお力添えが大切かと存じます。

私共夫婦(90才と82才)はお陰様で日々元気に暮らして居ます

高齢で何もお手伝いできませんので些少ですが寄付をさせていただきます。

### 令和6年度 ウォツゼ島遺骨収容派遣

(取材・鈴木)

令和6年10月15日～10月30日まで、ウォツゼ島に遺骨収容団が派遣されました。

メンバーは、日本戦没者遺骨収集推進



今回は島の中央付近を調査・発掘し、13柱の全身骨を発見したそうです。そのエリアは「集団埋葬地」と思われ、皆、北枕（日本の方角に向けて）で埋葬されていました。前回の派遣で目印をつけていた場所なのですが、南



協会（団長1名、スタッフ2名）、厚労省1名、日本遺族会1名、鑑定人1名の、合計6名でした。

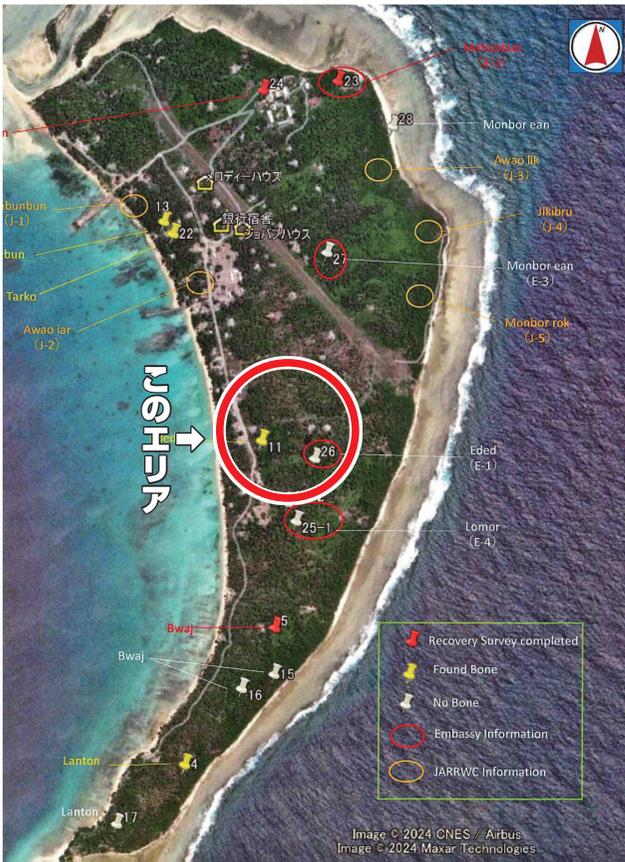
私は今回の収容派遣に参加できなかったため後日、団長にお話しを伺い、ここに報告いたします。

方はすぐに雑草が茂ってジャングル化して目印が隠れてしまったため、毎回、雑草の伐採から始まります。現地ワーカーさんに手伝っていただき、炎天下での作業です。ワーカーさん達も世代交代があり、初回時のワーカーさんのご息が多く参加し、全体的に若返っていたそうです。

また、CHPO（文化歴史遺産保存局）の局長とスタッフ（マーシャル人3名、アメリカ人2名）が参加しました。

7日間の作業は、激しいスコールで中断されたり、苦労も多かったようです。

マーシャルの強い紫外線により、全身に疲労がたまり、



疲れがとれにくいことは私も経験していますので、今回の7日間は大変ハードだったと想像します。遺骨は現地の警察署に保管され、DNA鑑定用の「検体」のみを持ち帰りました。（検体とは、歯や大腿骨、頭部の錐体部）

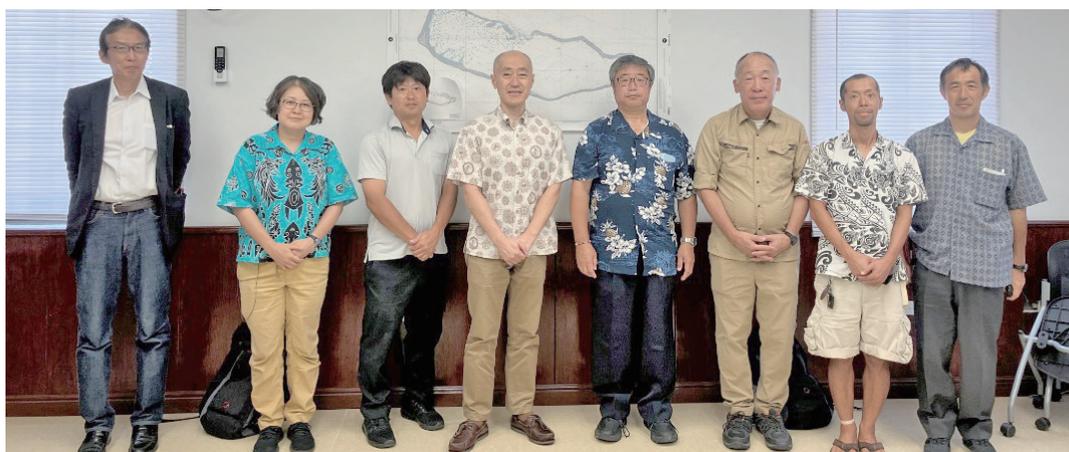
まだまだ島には、戦没者の遺骨が残っていますので、次回も引き続きウオツゼに派遣されます。



ふるいにかけて細かい遺骨も探す



宿舎の前で



在マーシャル大使館HPより

※事務局へのご意見・ご感想、投稿記事、マーシャル関連情報などお寄せください。  
お問合せ先 事務局・高林 048-223-6110 携帯090-3337-4531 メールアドレス takabayashi.yoshio@khaki.plala.or.jp